

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2014

2月

No.104



特集

P2・3

学んだ成果を

平成25年度

社協役職員業務研究会

活動に活かす!!



ひ孫と
いっしょ

シリーズ103

千種町 岩野辺

ふなびき みやぎ

船曳 美柳さん(81歳)

○小春ちゃん(2歳6ヶ月)

○明日花ちゃん(1歳4ヶ月)

ふなびき ぶんよう みな

船曳 文陽さん・美奈さん

■長女・二女

学んだ成果を

活動に活かす！

平成25年度

社協役職員業務研究会

宍粟市社協では、理事と職員（管理職員、地域福祉担当者等）が4つの班に分かれ、第2次地域福祉推進計画（つなぎりふくしプラン）であげている重点事業を推進するため、調査や研修を行っています。

今月号では、理事と職員が一緒になり取り組んでいる今年度の「役職員業務研究会」について報告します。

研究方法は班ごとに検討

今年度は、4つの班すべてが昨年度と同じテーマで研究を進めました。

その方法は、先進的な取り組みを行う社協への視察研修をはじめ、高齢者の見守り活動を行うボランティアグループへの聞き取り調査や配食サービス利用者へのアンケートの実施など、それぞれの班が必要と思うこと

を考え、研修内容がさらに深まるよう取り組みました。

※班ごとのテーマと研修の様子は左のページで紹介しています。

「買い物送迎バス

お出かけ号」を試行運行

今回の研修で3班では、山崎町小茅野と波賀町北部地域で懇談会を行いました。



新たに作成した「お出かけ号」のマーク。マイクロバスにつけるマグネットシートなどに使っています

そして、その中で要望の高かった「買い物支援」について、昨年12月26日（木）「買い物送迎サービスお出かけ号」を波賀町北部地域で試行的に運行しました。

この取り組みは、バス路線のない地域で買い物に不自由を感じておられる高齢者を対象に、社協のマイクロバスなどで市内の大型店舗等への買い物送迎を無料で行うものです。

当日は8名の方に利用いただき、食料品だけでなく薬や洗剤などの日用品、お正月に準備するものを買うことができた喜んでいただきました。



班ごとにまとめた研究の成果を発表する本会職員(H26.2.1 宍粟防災センター)

今回の試行運行により、来年度から社協が行う新たな取り組みとして「買い物支援」を具体化させるヒントを得ることができました。

なお、このお出かけ号の財源には、「歳末たすけあい募金」の配分金を活用させていただいています。

研究の成果を発表会で

研究の成果は、2月1日（土）
宍粟防災センターで行った発表
会で報告しました。この発表会
には本会の理事や評議員、支部
地域福祉推進委員、介護事業職
員等70名の参加がありました。

参加者からは、「これから地
域で取り組まなければならぬ
課題がよくわかった」「宍粟に
必要な福祉的な取り組みをみん
なで考えていこう」などの意見
をいただき、参加者全員で内容
を共有することができました。

社協では、来年度もこの役職
員による業務研究会を継続し、
宍粟市の地域福祉推進のため全
力をあげます。

○当日の発表会の資料が必要な
方は、社協へご連絡ください。
お渡しします。

第1班

成年後見と 権利擁護活動の推進について

平成26年度から「成年後見センター」を立ち上げる三田市社協で研修を行ったほか、宍粟市地域包括支援センター担当者と成年後見支援について意見交換を行いました。（写真は三田市社協での研修の様子 H25.12.11 三田市総合福祉保健センター）



第2班

毎日型配食サービスの 実施について

配食サービスの利用者やケアマネジャー等へのアンケート調査を行ったほか、市内の福祉施設や弁当業者などへ「毎日型配食サービスについて」聞き取り調査を行いました。（写真はアンケート結果をまとめる2班のメンバー H26.1.23 千種保健福祉センター）



平成25年度 役職員 業務研究会

第3班

限界集落化していく地域での 福祉活動の推進について

山崎町小茅野と波賀町北部地域での懇話会を開催し、日頃の生活でのお困りごとをお聞きたり、神河町社協で「買い物送迎サービス」について研修を行いました。（写真は波賀町北部地域での懇話会の様子 H25.11.14 鹿伏公民館）



第4班

ご近所ボランティア活動の 推進について

山崎町伊沢町、大歳町で活動する「高齢者見まもり隊ひだまり」に聞き取り調査を行い、宍粟でご近所ボランティア活動に取り組むことについて検討しました。（写真は高齢者見まもり隊ひだまりの代表と話をする4班のメンバー H26.1.8 宍粟防災センター）



や
まさき

身近なバリアフリーを探そう!

山崎小学校4年生の「福祉学習」

1月21日(火)、山崎小学校の4年生77名が、山崎文化会館や栄栗防災センター、神姫バス山崎案内所を訪問し、バリアフリーの設備を見学しました。

同校では、この日に向けて点字やユニバーサルデザインについて事前学習をするなど準備をしてきました。

防災センター見学時には、自分たちでバリアフリーを探してみる時間を持ちました。

「すごい、点字の電話帳を見つけた!」「ここにも手すりがあったよ」など、お互いに気づいたことを一生懸命メモする子どもたち。

「宝探しみたいで、いつもの授業より活き活きとしています」と、元気に探し回る子どもたちを、うれしそうに見守る先生方が印象的でした。

この日の発見や気づきは、



初めて見る点字の防災マニュアルや電話帳などに驚く子どもたち(栄栗防災センター)

後日、学校の授業で振り返りの教材として使われます。

こうした福祉学習を通して、自分たちの地域を知り、誰もが安心して暮らせる「みんなにやさしいまち」について考える機会になればと思います。

もうすぐ完成する新校舎には、どんな工夫がされているのか、見つけてほしいです。

(山崎支部 森井裕矢)

い
ちのみや

雪の中“あったか喫茶”

本谷ふれあい喫茶「美心」

「真っ白な雪化粧になって」...

1月19日(日)、昨晩から降り積もった雪が本谷公民館の辺り一面を包んでいました。

本谷ふれあい喫茶は、「美心」の愛称で親しまれ10年が経ちました。

喫茶の運営は、福祉委員が中心です。毎月第3日曜日を定例に、隣保の協

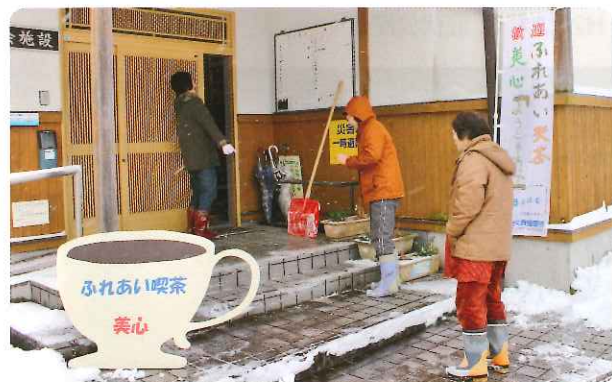
力を得ながら進めています。

この日も、足元の悪い中でしたが、常連の方をはじめ25人が公民館に足を運びました。

集会所に入ると、数種類のパンや果物、ゆで卵、ゼリーなどがテーブルに並んでいます。



100円でおかわり自由!



「美心」のカップがみなさんをお出迎え(本谷公民館)

す。そうです、今日は年一度のバイキング喫茶。

「何を食べようかな?」「美味しそうやわ」...食べ放題で気持ちが高ぶります。

「常連さんだけでなく、もつと大勢の人に来てほしいです」と代表福祉委員の日城弘幸(ひしひろゆき)さん。

寒い雪の中でしたが、みなさんの笑顔と楽しいおしゃべりで、心も体も、あったか喫茶となりました。

(本部・一宮支部 波多野好則)

は
が



「こうやって打つんやで」
遊んだ後のくすだま鉄砲はお土産に

に、子どもたちは興味津々。悪戦苦闘しながらも、最後には

「私らも楽しませてもらったわ」

むかし遊び講師が活躍!

1月27日(月)、波賀小学校で、5人のむかし遊び講師が、1・2年生の児童49人にお手玉・くすだま鉄砲・ぶちゴマを教えました。



「このお手玉の中には小豆が入っとるんやで」

「お手玉は苦手だったけど50回できるようになってうれしかった」「ぶちゴマを回すのが難しかったけど、練習したらできるようになった」などの感想が聞かれました。

「元氣いっぱいの子どもたちに、今日は私らも楽しませてもらったわ」と講師の菟場智恵子さん。

簡単そうに見えても実際にやってみると難しい昔の遊び、私も教えてもらいたいと思いました。コツをつかんで上手にできたら格好いいですね。

(波賀支部 平有利菜)

ち
くさ

冬の居場所はここ

ひだまりで手芸とおしゃべり

千種町岩野辺の八田ユキヨさん宅で、冬の間に近所の仲良しさんが集まって手芸に取り組みれているとお聞きし訪ねてみました。

5年程前、八田さんと堀田春子さんが冬に外仕事ができない間、「手先を使うたらボケ防止になるときいたで、何かしよいや」と始められたそうです。

1月17日(金)、この日は久しぶりによく晴れ、ぽかぽかの部屋に集まったのは5人。

「日になんばせなあかんいうんやないし」「ようけ作ってもすぐ人にやって無いようになる」とみなさん。

八田さんが不在の日以外は、毎朝ここに集まり、お昼になったら家にご飯を食べに帰り、またやってきます。家が遠く、お弁当持参の方もあります。



おしゃべりしながら編み物をするみなさん
(八田さん:写真中央、堀田さん:左端)

気の合う仲間が集まって手芸やおしゃべりを楽しむ冬の居場所がここにありました。

春、じゃがいもを植えるころにはこの居場所もしばしお休みとなります。みなさんのお近くにもこんな居場所があればいいですね。

(千種支部 小原志のぶ)



2枚仕立ての座布団
「あったかいで」

